

オリパラ便り



令和 2 年 1 2 月 2 4 日 (木)
第 2 号

＜パラ陸上講演会 開催＞

10月22日(木)に全校生徒を対象に『2020+1パラリンピックを楽しむために』というテーマで講演会を実施しました。当日は講師として日本知的障がい者陸上競技連盟副理事長の岡澤政子先生をお招きしました。岡澤先生は江戸川区立松江第一中学校の教員である傍ら、来年行われるパラリンピックの現役のスタッフです。講演会ではパラリンピックの歴史や種目の紹介、来年の注目選手などについてお話をいただきました。



岡澤先生のお話

多くの選手が自信の障がいと向き合い、真剣に種目に取り組んでいます。また、その人たちを支えるコーチや大会運営スタッフ、義肢装具士やボランティアの方々などがいることを知ってほしい。障害のない皆さんにも苦手なことや自信がない事もあると思います。そんな時、家族や先生などが温かい特別な支援をしてくれているはず。そのことに感謝の気持ちをもってほしい。来年の大会を通して障害がある人やパラリンピックに興味をもってほしい。そして障害をもっている人を支えるひとになってほしいです。

＜1年生ボッチャ体験学習 開催＞

12月14日(月)に1年生を対象に『ボッチャ』の体験学習が行われました。講師として、ロンドンパラリンピック・ボッチャ代表選手の秋元^{たえみ}妙美さんと同ヘッドコーチ渡辺美佐子さんをお招きしました。



ボッチャとは、重度脳性麻痺患者などを対象に考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ボールを投げたり転がしたりして、いかに目標球に近づけるかを競います。秋元さんはパラリンピック出場を目指して13年間努力を続けてきました。その経験から、自分だからできることを精一杯やることや、マイナスはプラスに変えられること、誰かの支えがあってこそ自分が成長できることを力強く伝えてくれました。2時間目からはボッチャ体験を行いました。クラス対抗で競い合い、大変盛り上がりました。ボッチャは年齢や性別、運動の得意不得意も関係なく、みんなで一緒に楽しめるスポーツです。この日の交流を通して、障がい者への理解、心のバリアフリーにつなげてほしいと思います。

